

## 日本多発性硬化症協会

### 毎年5月最終水曜日を「世界MS（多発性硬化症）デー」に制定

—MSの認知向上のため世界110カ国が参加する世界的な啓発活動に日本も参加—

日本多発性硬化症協会（事務局：東京都台東区 会長：荒井好民、以下「日本MS協会」）は、この度、多発性硬化症世界連合（MSIF）が制定する「世界多発性硬化症（MS：Multiple Sclerosis）デー」活動に賛同し、日本でも「世界MSデー」を制定いたしましたので、お知らせいたします。毎年5月の最終水曜日を「世界MSデー」とし、本年度は5月27日（水）です。

「世界MSデー」は、MSIFが、世界的な問題としてMSの認知度を向上させることを目的に本年より制定した記念日です。「世界MSデー」には、世界66カ国が参加し、趣旨に賛同する個人・団体・組織によって世界規模でさまざまな活動（217を超える催事）が行われました。

日本MS協会では、本年度の「世界MSデー」の活動として、MS研究のための募金活動などを行って参ります。また来年度以降も、日本の患者団体、患者支援団体、また協賛企業とも協力し、一般の方々への啓発活動を継続して行っていく予定です。

MSは、脳や脊髄などの中枢神経系が侵される神経難病で、侵される部位によって運動障害・視力障害・感覚障害などのさまざまな症状が出現します。厚生労働省の特定疾患に指定されています。MSは典型的には年齢が20歳～40歳で発現し（より早期に発症することもあります）、女性の罹患率は男性の罹患率の約3倍とも言われています。日本では、約1.3万人の患者さんがいると推定されています。

日本MS協会会長の荒井好民は、今回の「世界MSデー」制定について、「日本のMS患者数は、近年増加傾向にあると言われていています。しかし、まだまだ日本ではなじみのない病気ですので、今回の『世界MSデー』制定を機に、MSについて正しい情報をこれまで以上に一般の方々に広く継続的に提供していくことは、MS患者さんのサポートのためにも、また潜在的な患者さんを早期発見し治療に導くためにも、私どもの非常に重要な任務であると考えています。当協会はMSの診断に関連する多くの先生方にもご協力をいただいております。今後日本の先端的な研究者によって治療法が早く発見されるようにするためにも、一般市民の方々から広くこの「世界MSデー」活動の趣旨にご賛同いただき参加をお願いしたいと思います。もちろん本来の当協会設立趣旨である若手研究者によるMSに関する調査研究の助成も継続されます。」と述べています。

## 「世界 MS デー」について

「世界 MS デー」は、多発性硬化症世界連合（MSIF）によって、世界的な問題として MS の認知度を向上させることを目的に 2009 年より制定した記念日です。2009 年 5 月 27 日（水）が第一回目となり、今後は毎年 5 月の最終水曜日が「世界 MS デー」となります。今年の世界 66 カ国で 217 を超える催事がとり行われました。日本では、日本多発性硬化症協会（日本 MS 協会）が主催となり、MS の啓発活動を展開いたします。なお、日本ではバイエル薬品株式会社が協賛しています。

ウェブサイト： <http://www.worldmsday.org/>

## 多発性硬化症世界連合について

多発性硬化症世界連合は、1967 年に世界各国の MS 協会と連携する国際的な組織として設立されました。「MS のない世界の確立」をビジョンに掲げ、各国の MS 協会や研究団体およびさまざまな利害関係者間の連携を促進することで MS に関連する人々の生活の質の向上と、MS へのさらなる理解とより良い MS の治療をサポートすることを目的としています。

ウェブサイト： <http://www.msif.org/>

## 日本多発性硬化症協会について

日本多発性硬化症協会は、MSIF の加盟団体として、MS の調査研究費への助成や、マスメディアや刊行物等を通じて MS の認知度を向上するための活動を行っています。また約 40 名からなる医学顧問団による医療相談や講演等を通じ、MS 患者さんの福祉の増進に貢献しています。

ウェブサイト： <http://www.jmss-s.jp/>